

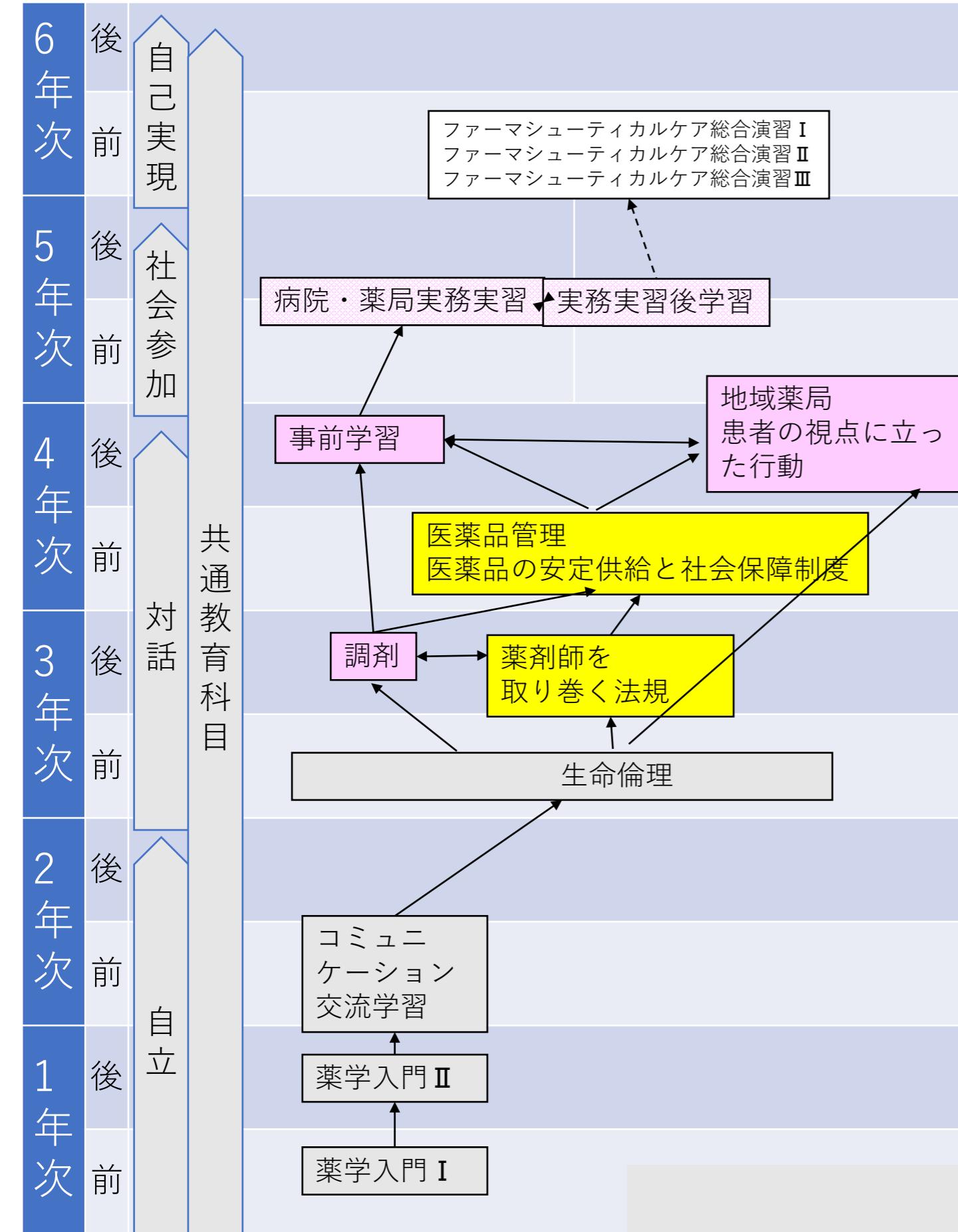
福山大学薬学部

履修系統図
(カリキュラム・ツリー)

令和2（2020）年4月1日現在

資質1：臨床で活躍するための薬剤師としての心構え

豊かな人間性に基づいた患者・生活者本位の視点と生命の尊厳に配慮する医療人の視点を備え、ホスピタリティを持って患者・生活者と接するとともに薬剤師としての使命感、責任感及び倫理観に基づいて行動できる能力を身につけている。



資質ごとの修得科目の順次性（カリキュラム・ツリー）

2020学生便覧、p 159にカリキュラムマップが示されているが、このカリキュラムツリーでは、8の資質修得に至る科目履修の順次性をさらに詳しく図示している。

注意)

- ①資質1は、薬剤師としての最も重要で基礎となる資質である。資質2-8修得対象のすべての科目の授業で、当該科目と資質1との関連性が繰り返し教示されるが、煩雑になる為に資質2-8のマップでは資質1関連科目は省略している。
- ②資質2の内容は多岐に亘るため、資質（中項目5・6・7）と資質（中項目8・9）に分けてツリーとしている。資質（中項目5・6・7）は3年後期の「実践薬学演習」、資質（中項目8・9）は4年次前期の「基礎薬学演習」と「医薬品の化学構造と性質」で総括的評価を行う特徴がある。
- ③資質2で修得すべき基礎的な知識は、資質3-8のすべてで必要とされる。しかし、すべての資質2修得関連科目記載は重複するため、資質3-8のマップでは「資質2関連科目」と表記している。
- ④資質に関して、総括的評価を行う科目は*を付記している。

専門基礎科目

専門科目生物系

専門科目物理系

専門科目化学系

専門科目衛生系

専門科目医療薬学系

法・制度

実習及び演習

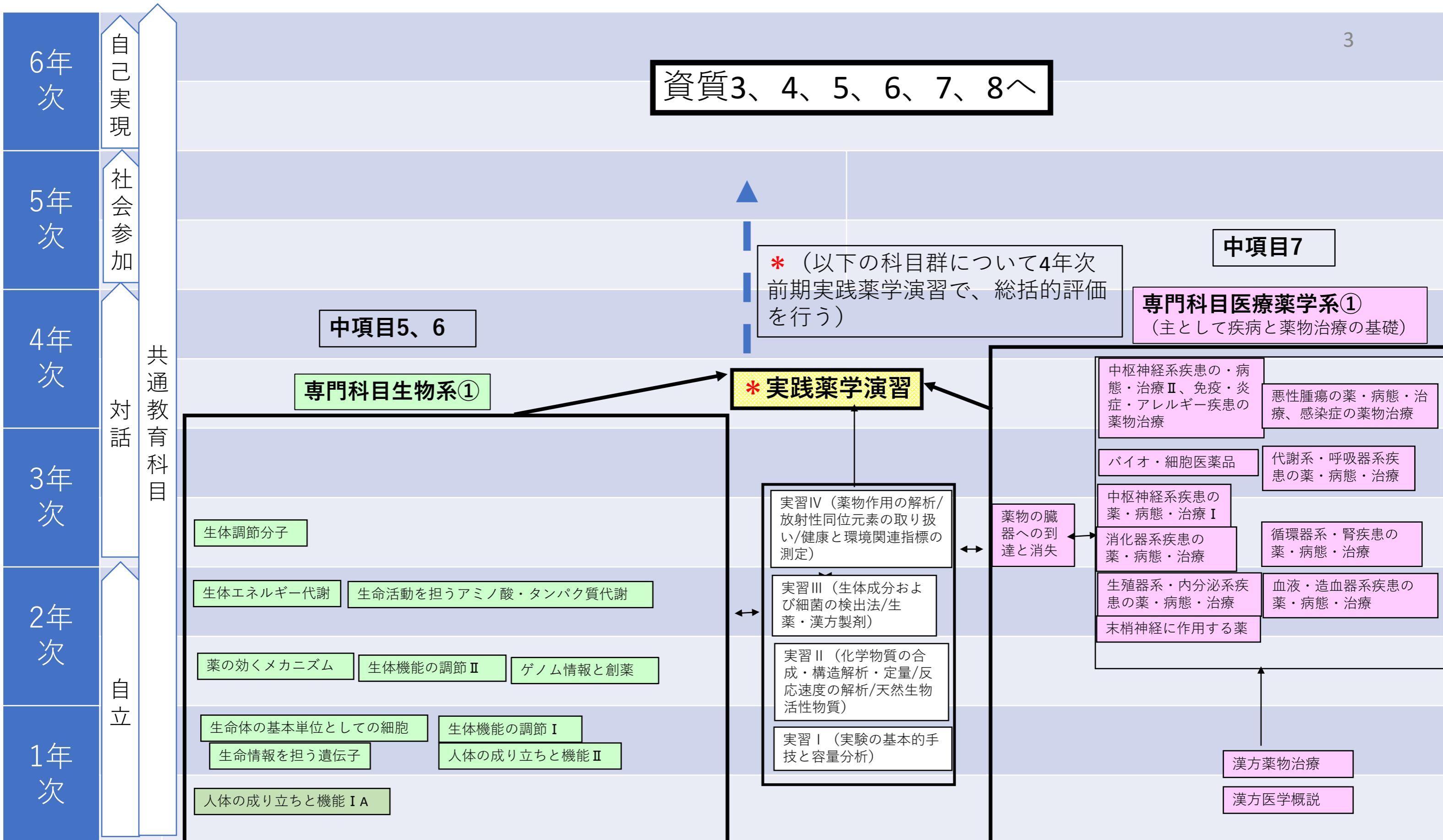
資質2：医薬品・化学物質等が生体及び環境に及ぼす影響を理解するための科学力

中項目5：生命の連続性(恒常性)と人体の成り立ちを理解している。

中項目6：生命活動を支える物質と生体内化学反応を理解している。

中項目7：医薬品の作用を生体との反応に基づいて理解している。

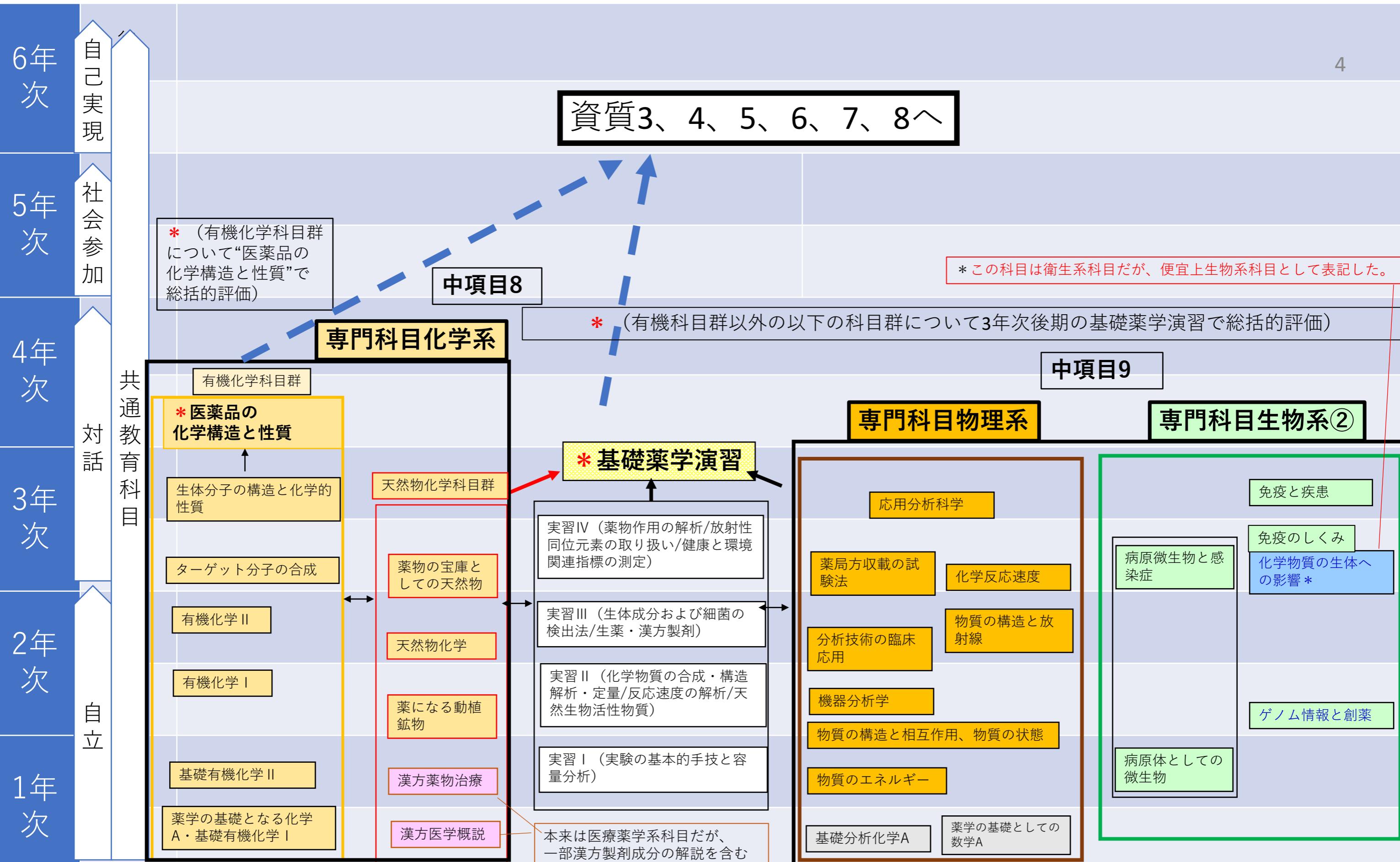
3



資質2：医薬品・化学物質等が生体及び環境に及ぼす影響を理解するための科学力

中項目8：生体及び環境に作用する医薬品・化学物質の構造と性質を理解している。

中項目9：生体及び環境に影響を及ぼす化学物質や微生物を理解している。



資質3：医薬品の適正使用を実施するための処方せん調剤を実践する能力

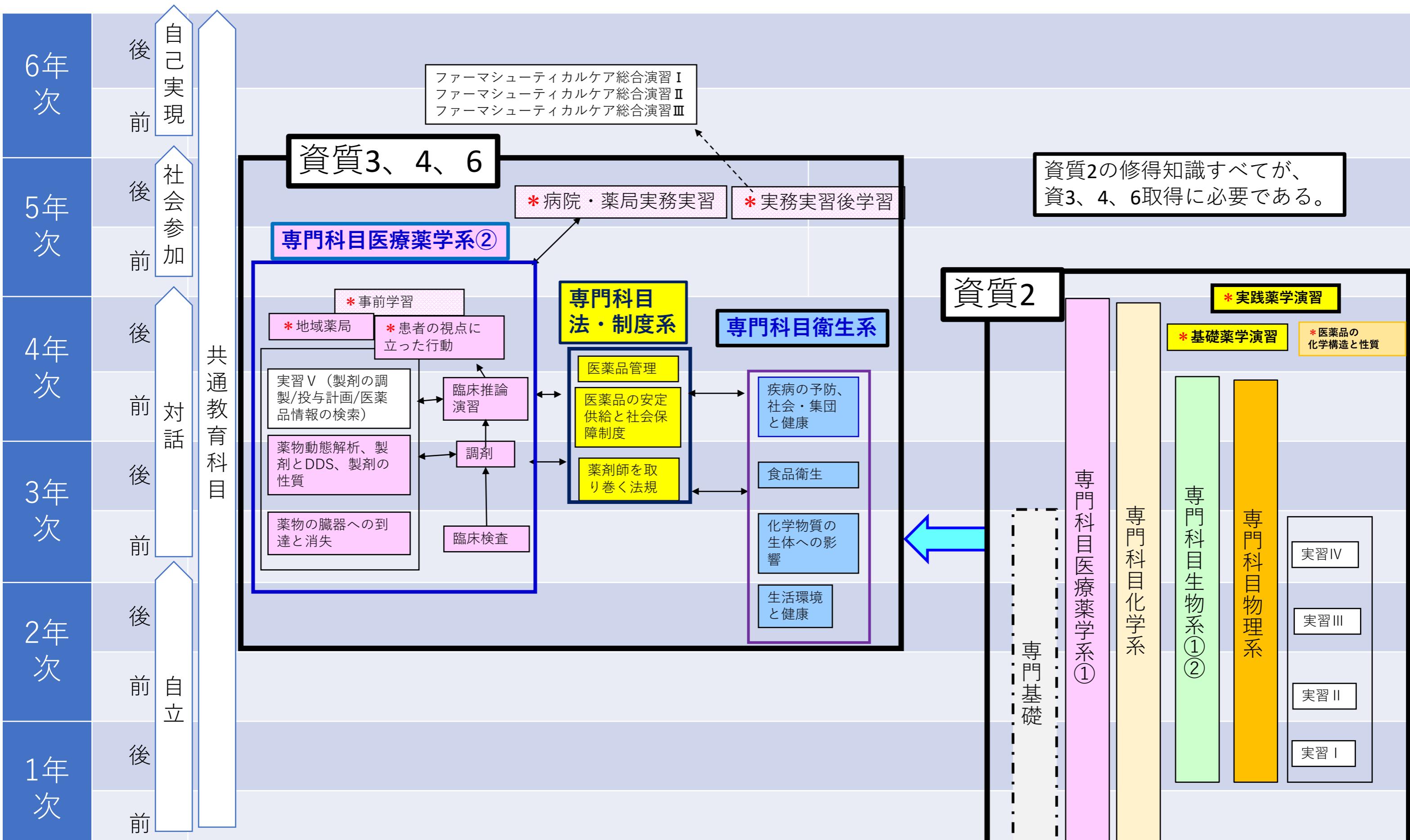
医薬品の適正使用の観点から処方せん監査、疑義照会、調剤、医薬品の供給と管理、安全管理、服薬指導を実践する能力を身につけている。

資質4：チーム医療の中で最適・安全な薬物療法を提供するための実践的能力

薬物療法で主体的な役割を果たすために、他職種と連携して患者情報を収集し、薬物療法における効果と副作用を評価するとともに処方設計の提案を実践する能力を有する。

資質6：地域住民の健康を守るための実践的能力

地域の医療、保健・福祉、介護及び行政等に参画・連携して、地域医療の推進及び人々の健康・公衆衛生の向上に貢献する能力を身につけている。



資質5：医療の進歩と改善に寄与するための研究能力
科学的な知識に基づいた論理的思考による問題発見能力と問題解決ための基礎的な実験・研究能力を身に附けています。

資質8：薬剤師に求められる総合的な知識
薬剤師になるために必要な総合的な知識を有している

